

市報6月号で募集した市民意見の概要について

【募集概要】

- 1 タイトル：さいたま市の「これから」を一緒に考えませんか？
- 2 募集テーマ：10年後、20年後、さいたま市がどんなまちになってほしいか
※提示した例：「高齢者が元気に活躍できる環境が整ったまち」
「子どもたちが、のびのび暮らせるまち」
「地域でのコミュニケーションが盛んなまち」
- 3 募集期間：6月3日～17日

【意見概要】 (23名から回答)

魅力向上

- ・市内を歩いていて、なんとなく活気のあるまち、楽しいまちと感じられるまち
- ・住みたくなるまち、訪れたいまち
- ・教育都市、文化都市、スポーツ都市の実現
- ・世界に誇れる文化都市の実現

都市基盤・交通

- ・市内で乗り降り自由な鉄道パスの導入
- ・市内観光名所を回遊するバスの運行
- ・地下鉄7号線延伸による埼玉スタジアムへのアクセス改善
- ・埼玉高速鉄道の完全民営化
- ・組合土地地区画整理事業の一層の推進
- ・美しい自転車の乗り方日本一のまち

環境

- ・みどり豊かな公園があるまち（見沼田圃の大公園化）
- ・見沼田圃のあらゆる年代の人々が自然の中で楽しめる一大ランドパーク化
- ・浦和競馬場、さいたま新都心の森林公園化
- ・太陽エネルギー利用促進に向けた助成の強化
- ・農業、農家の生き残り策の推進

安全・安心

- ・安全にのびのびと暮らしていけるまち
- ・孤独死のないまち

高齢者

- ・高齢者が生き生きと働けるまち
- ・高齢者に対する職の受け皿の増加
- ・高齢者の活躍できる場の情報提供と人事仲介等の推進
- ・高齢者が助け合い協力し合い一日一日を笑えることができるまち
- ・寝たきりの人が10年、20年後も少ないまち

障害者

- ・健常者と一緒に、障害者も市内どこへでも出かけられ、仕事・遊び・用事をスムーズにこなせるまち

その他

- ・思いやりの心を持って生活できる都市
- ・少子化を防ぐための対策の強化
- ・医療費をあまり使っていない人などは税控除を受けるなど、努力する者が報われる制度の導入による予防の促進
- ・浦和競馬、大宮競輪の廃止とその跡地の有効利用
- ・県立小児医療センター跡地の有効利用
- ・核家族から大家族に導く政策の推進
- ・人権教育の推進